

第4回長野県は宇宙県ミーティング@大町

長野県天文文化研究会報告

長野市立博物館 陶山徹



目標：知りたいこと

- なぜ、長野県は宇宙県なのか？
 - 歴史的、文化的にも宇宙県なのか？
 - 科学史、天文史上の位置づけ
- 近世と近代のつながり
 - 江戸時代と明治以降は断絶しているように思えるが...

具体的テーマ

- 江戸時代の天文学
 - どんな資料が残されているか
 - 観測機器、文書、星図など
- 近現代の天文学
 - 日本の太陽観測のはじまり（三沢勝衛）
 - 近代初期の望遠鏡（中沢登）
 - アマチュア天文家と同好会の活躍
 - 観測所（野辺山、木曾など）の歴史

江戸時代の天文学 テーマ

- 松代藩（長野）
 - 真田家：望遠鏡、幕府天文方関連
 - 佐久間象山関連：蘭学関連、測量道具など
- 高遠藩（伊那）、市岡家（飯田）
 - 星図など、天文関連資料が多い。
- 他にもたくさん
 - 渾天儀、測量道具などが各地にある

近現代の天文学

アマチュア天文家の活躍

- 三沢勝衛：日本の太陽観測のはじまり
- 田中静人：長期太陽観測
- 中沢登：カルバー望遠鏡（1888年製）
- 五味一明：変光星の観測
- などなど

近現代の天文学 同好会の活躍

- 1922年諏訪天文同好会設立
 - 全国的にも古い同好会
 - 三澤勝衛との関係
 - 様々な人材を輩出
- 各地の同好会活動
 - 観察会、夜空の明るさ調査など
 - 現在の活動についても振り返りが必要

現状

- ニヶ月に一回研究会を開催（次回は4月）
- 現在の主な調査内容
 - 近世：星図調査（の練習中）
 - 近代：諏訪天文同好会関連
 - 五味一明関連資料調査（ハケ岳総合博物館）
 - 同好会メンバーへの聞き書き
- メンバー募集中。
 - メールリングリストご参加ください
 - 陶山までお気軽にご連絡ください

星図の掲載星座

- 星座の名前と数
 - 省略されている星座もある
- 星座を構成する星の数
- 星座の形
 - 天文成象、天経或問、その他のどれか
- 書入れ
 - その資料の使われ方などがわかる
- 写した人物、年が分かればより良い
 - 跋文なども読む

五味一明関連資料調査

○ 卷子 (受賞の経緯)
ラジオ放送の原稿

○ 野辺山のパノラマ写真
(旧兵舎あり)

○ メダル・賞状

○ 星図 (刊行)

◎ 手系氏 (古火田・神田...)

◎ トレーシングペーパーの星図

○ 観測解説書原稿 100 ページほど
(1928.9.24年)

○ 小栗星 60m; 賞状

・NTK
会報

・手紙
八ヶ岳

・年賀状 (1920. 2021)

・書籍

・「アマチュア天文家作成経緯」

アメリカ大使館での器具
大使の名刺

アメリカ
(北海道日産観測)
1936

ハルマ 5台観測写真

1920 日食写真

○ 観測の方法
星図

○ 月食観測 (1928. 観測)

直接
話した

変光星

龍巻
・210

河原
の
星図

(星の
観測)

日本天文会誌

星図

アマ天 300-310

1933年11月の観測報告

観測
テープ
録音 (1928)

1920.01.24



五味一明関連資料調査@茅野市立八ヶ岳総合博物館